

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	日本アルプスフェス 2014
事業主体 (連絡先)	日本アルプスフェス実行委員会 (事務局：塩尻市役所経済事業部ブランド観光課内)
事業区分	(8)、(6)
事業タイプ	ソフト
総事業費	10,196,280円(うち支援金：4,196,000円)

事業内容

中信4市で設置した実行委員会が主催(長野県の協力)し、愛知県名古屋市の名古屋テレビ塔下でワインなどの地域産品を活用したイベントを開催しました。

また、長野県で昨年策定された、「信州ワインバレー構想」、「松本地域ビジョン」の目標達成につながるよう事業を推進しました。

具体的な内容については、各市を代表する名産物等を来場者に対し生産者が直接プロモーションを行い、その魅力をPRしました。

また、行政とイベントに参加する方たちとで連携し、地域の伝統芸能やゆるきゃらによる観光PR等を行い、地域の魅力を中京圏の人に対し情報発信しました。



【中京テレビ『4U』内イベント告知の様子】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① ワイン・日本酒、山賊焼、おやき、りんごやその他野菜等の地域産品を生産者による対面販売で行い、来場者へ生きた情報を提供しながら消費の拡大ができ、観光PRができました。
- ② ワイン・日本酒ブースを1つにまとめることで飲み比べが可能になり、市を隔てることなく広域的な魅力PRができました。
信州全体の地域産品であるそばについても、そば打ち披露や体験を通し広域的な魅力PRができました。
- ③ 市を超えた地域間の連携強化による観光PRにより、広域的な観光方法を提案できました。
さらに、御嶽山災害による情報等を提供し、来場者の木曾地域方面への観光誘客宣伝をしました。また、中京圏で放映される旅番組を制作し、長野県の広域的観光誘客とイメージアップができました。

来場者 8日(土) 12,000人(曇天)
9日(日) 3,000人(雨天)

【目標・ねらい】

- ① 地場産品等の消費拡大
- ② 広域的な地場産品等の魅力PR
- ③ 広域的な観光誘客

※自己評価【 B 】

【理由】

- ・ 飲食出展者とステージ出展者が少なかったため、場所を有効に活用できませんでした。
- ・ 告知方法にチラシ、WEBサイトのほか、中京テレビによるロケ、FM愛知によるSPOT、パブリシティ、メルマガ配信による告知を行い、イベントに来場できなかった方にも中信4市のPRができました。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

来年度の開催に向けて、開催時期、出展内容や告知方法、県との連携方法などを精査し、イベントに統一性を持たせ、中信の魅力を伝えられるイベントとしていくことで、中京圏から中信地区へのより一層の観光客増加を目指します。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある